

<令和6年度将棋同好会活動報告第四報>

令和6年11月11日

(8月29日)

○小黒の都合で、8月度は26日の予定を30日に変更していたが、更に29日に再変更した。

○小黒～橋本戦 小黒の○

居飛車合掛かりから腰掛銀角不交換型の戦いとなった。先手の小黒が3-4筋からの仕掛けで攻めの先行を取るが攻めきれず橋本の逆襲を受け前例のない型にもつれ込んだが最後は小黒が粘り強い攻めを継続し何とか攻めきった。

○橋本 - 出井戦 先手橋本の○

出井の四間飛車高美濃に対し、先手の橋本も強固な高美濃囲いで対抗、持久戦模様と思わせたが出井が5筋から早仕掛けを先行、橋本は居飛車有利と言われている角交換を実現、5筋からの逆襲を狙う。橋本も6筋からの反撃を狙い良い勝負の局面となったが、中盤、出井は見落としから桂馬の2枚損となり、あっけなく橋本の勝ちとなった。出井の大ポカ。

(9月30日)

○先小黒-橋本戦 橋本の○

小黒は最近多用している棒銀戦法で臨んだが橋本の強い受けに方針を変更、一旦上がった銀を引き戻し中央から敵玉に迫る方針とした。うまくいったかに見えたが終盤からの攻めに問題があり、橋本の粘り強い戦いもあり橋本の久しぶりの小黒からの勝利となった。

○橋本=出井戦 出井の○

出井の穴熊4間飛車に対し、橋本も高美濃囲いの堅陣と中央の厚みで対抗。橋本の5筋からの先行攻めに対し出井はうまくさばく手順を構築、互角に見える局面が続いたが、飛車交換からは、出井の穴熊が生き、出井の攻めの速さが上回り、出井が勝ち切った。

(10月29日)

○小黒一出井戦 先手小黒の○

先手小黒は珍しく初手に7六歩と角道を開けた。最近の小黒は先手後手にかかわらず初手は必ず2六歩(後手の時は8四歩)と指し居飛車作戦の意思表示を示していた。どちらにせよ後手の出井は振り飛車作戦で3四歩と応じそれに対し小黒もすなおに2六歩と応じ通常の居飛車対振り飛車の戦いに向けたスタートとなった。出井は四間尾車美濃囲い、小黒は船囲いから左銀を中央に繰り出す中央位取り模様で厚みのある攻めを目指した。中盤、出井からの仕掛けを小黒がうまくかわし、有利に進め敵陣に先に飛車を打ちこめる展開となり、そのまま小黒が押し切った。小黒久々に出井から白星。

○小黒 - 橋本戦 橋本の○

小黒の棒銀作戦がうまくいかず、早い段階で橋本が優勢となり、そのまま橋本が勝ち切った。

次回は11月15日(金)